

運賃分科会 (継続協議)

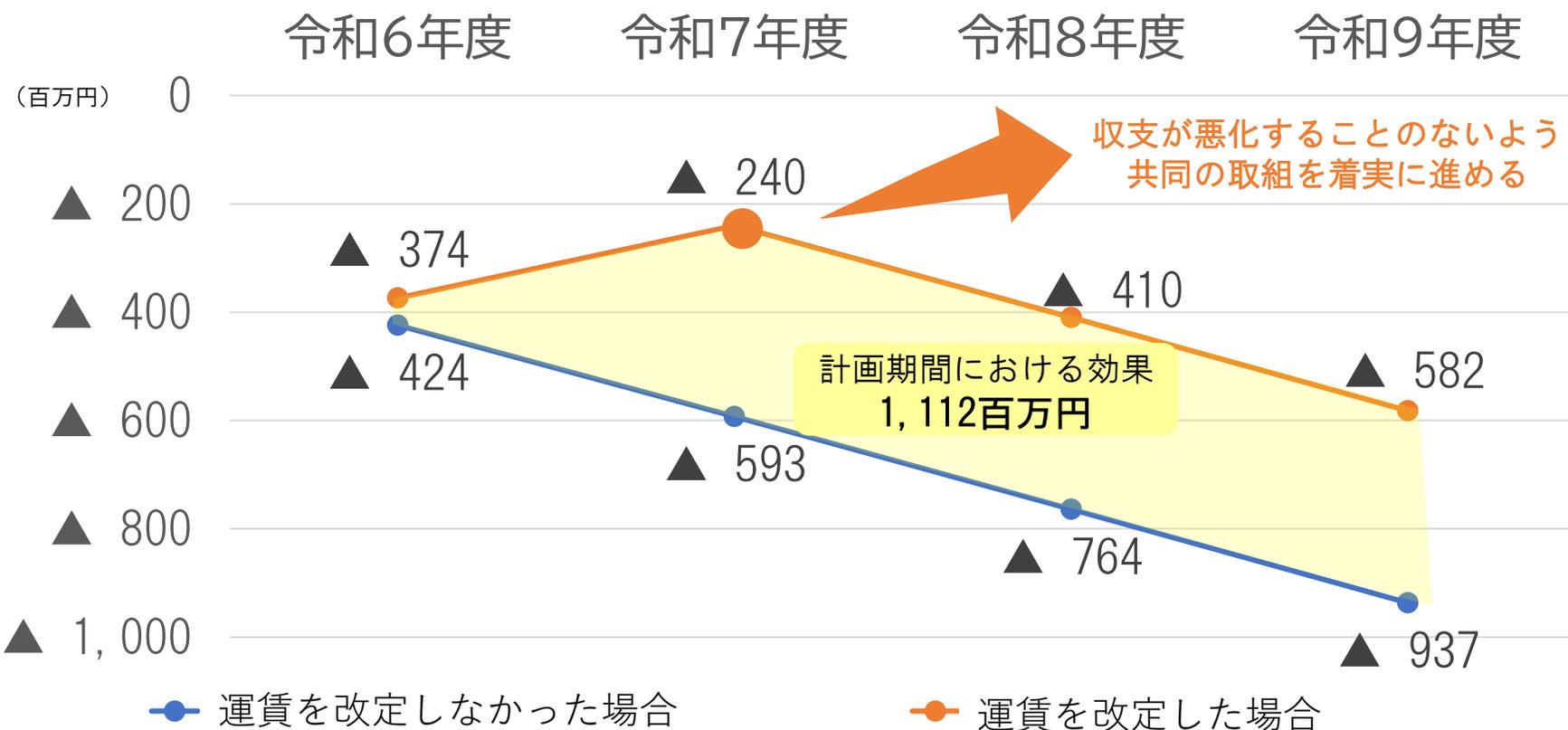
補足説明資料

令和 6 年 1 2 月 2 0 日

1 運賃改定後の収支

- バス事業者7社で共同経営行う路線について、運賃改定後の収支(=改定の効果)を試算したもの
- 運賃改定を行わなかった場合の青色の線と、行った場合の黄色の線の差の4年分の合計が、運賃改定による効果として、7社で11億1千2百万円となる。

共同経営計画 (抜粋)



(参考)

試算に用いた変動率について

➡グラフの“傾き”。7社分の数値であり、実際には各社で変動率は異なる。

①収入変動率(100.05%)

各事業者の平成28年～令和元年度の収入変動率の平均

②費用変動率(101.40%)

同上 (費用変動率の平均)

③運賃改定効果(350,611千円)

全事業者の各区間運賃の利用者および定期券販売枚数に値上げ額を乗じる

2 軽油単価

- エネルギー庁ホームページ掲載資料を基に作成した、軽油に係る広島県の給油所での小売価格の推移を表したもの
- 2022改定時の積算に用いた単価は135円。同年4月の改定作業以降も上昇傾向にあり、直ちに下落するとまでは言えないものの、直近20年で141円が最高値であったことなどから、**現行の150円超の水準に達するとの見通しは持っておらず、高止まりする燃料油脂費が経営を圧迫している。**

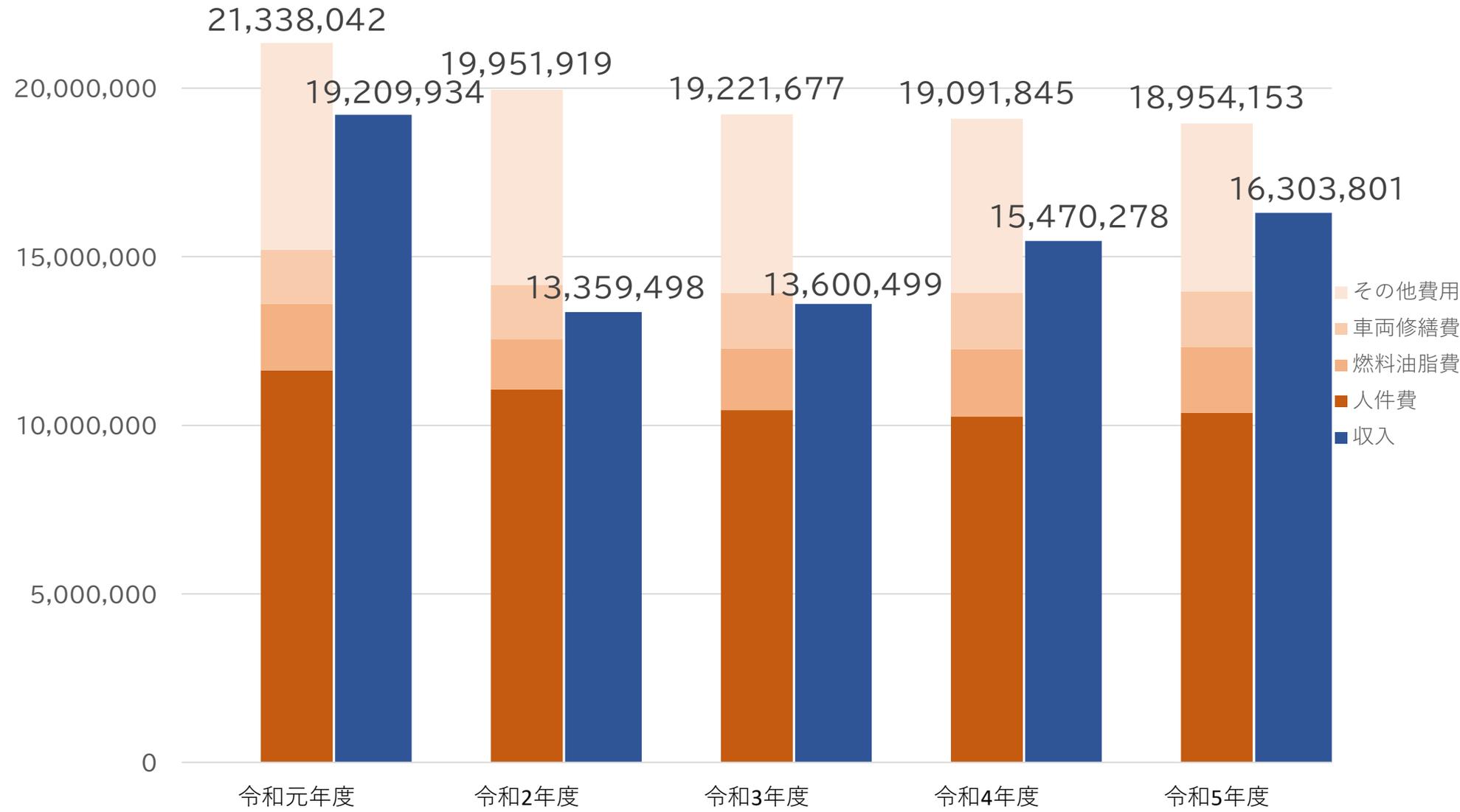
※出典:エネルギー庁ホームページ

広島県給油所小売価格調査
年平均単価



3 経営状況

● 直近5年度の経営状況の推移(7社合計値)



減便しても経費削減効果は薄く、収支差は依然マイナスの状況が継続している

※1 R元からR2,3の減便
⇒コロナ禍に応じた減便

※2 R4からR5の減便
⇒運転手不足による減便

●減便により、「実車走行キロ」(バスが営業運行で走行したキロ数)はコロナ前から20%減になっているにもかかわらず人件費(運送経費の6割を占める)や、燃料油脂費の高止まりの影響により経費は11%減にとどまっている。

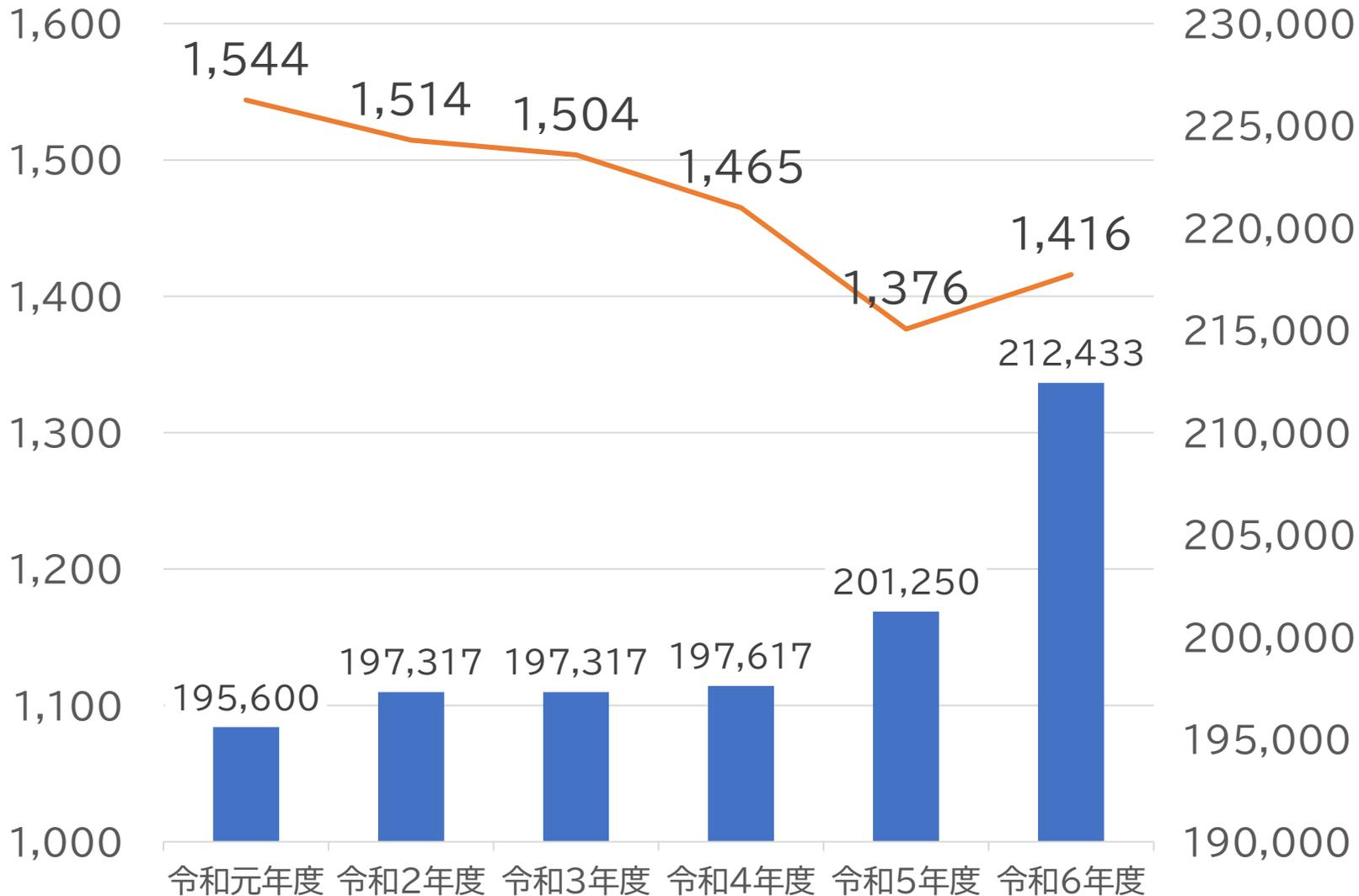
●結果として、コロナ禍からの利用者数の回復(85%)による運送収入の増加をもってしても、収支はなお20億円以上の赤字であり、厳しい経営状況が継続している。

実車走行キロ	47,199,097km	42,160,636km	40,509,453km	40,331,731km	37,610,752km
キロ当たり経費	452.09円	473.24円	474.50円	473.37円	503.96円

4 経営指標

● 直近5年度の乗務員数や初任給、諸経費等の経営指標の推移(7社合計値)

乗務員数と初任給の推移



初任給、平均賃金等の処遇改善により乗務員の確保に努め、今年度にかけて効果が見えつつあるものの、情勢は依然として厳しく、より一層の改善が必要

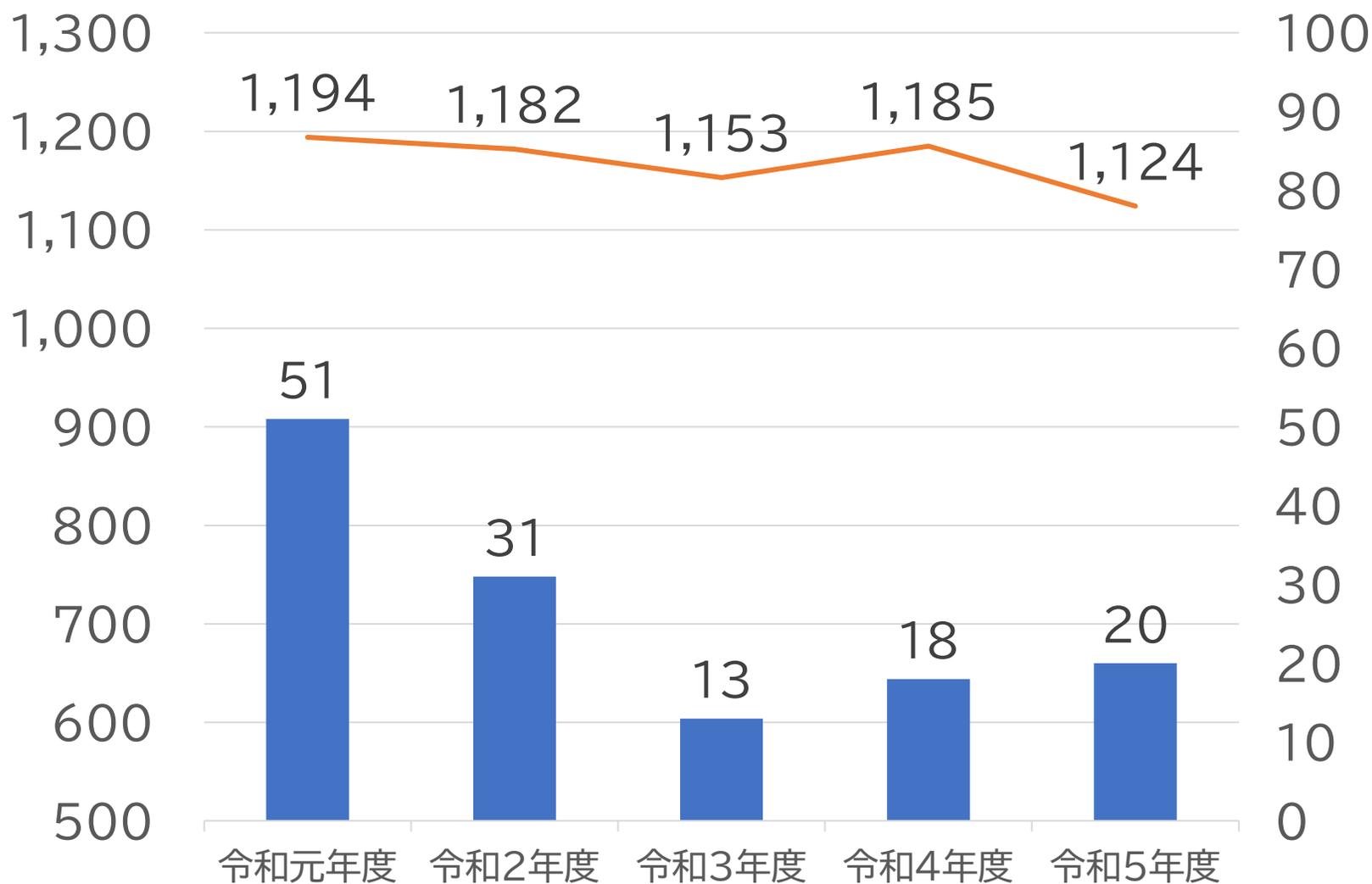
●令和5年度以降には多くの事業者が一定規模のベースアップを行うなど、運転手不足の解消に向け、乗務員の処遇改善を進めている。

→乗務員数は減少の一途を辿っているが、処遇改善の効果若干の改善傾向

4 経営指標

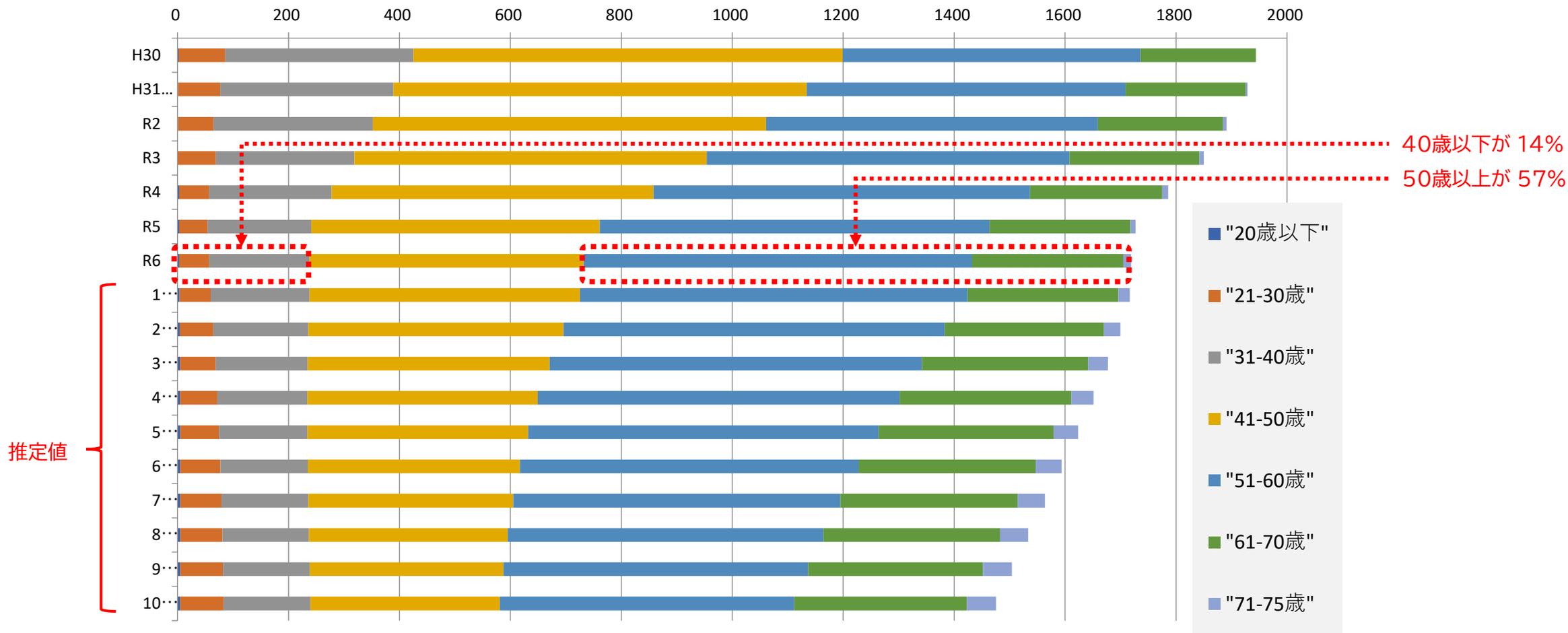
● 直近5年度の乗務員数や初任給、諸経費等の経営指標の推移(7社合計値)

車両数と新車購入車両数の推移



● バス車両は一般的に20年前後で代替が必要であるが、コロナ禍以降、車両購入数を抑制している。

[参考] 乗務員の年代別人数の推移 (※当資料は広島市域外等も含むため、前項の対象人数とは異なる。)



○令和6年度は9月末時点の速報値

○推定値の考え方

・H30～R6年度の世代別の採用者および離職者を基礎とし、年代別の採用率・離職率を算出したもの。

すでに乗務員の高齢化が進行していることから、早急に若年層の底上げを行う必要がある。

5 コスト削減の取組

①業務の内製化や外注化

- 他業務の見直しを行うことで、要員増を伴わずに内製化できる業務を内製化し、外注コストを削減
- 要員削減効果が期待できる業務は、外注化し、人件費を削減

効果

売上金回収業務の一部内製化
3百万円程度/年

車検業務の内製化
数百万円以上/年

早朝深夜帯の緊急対応電話窓口の外注化
数百万円以上/年

②営業所の統廃合

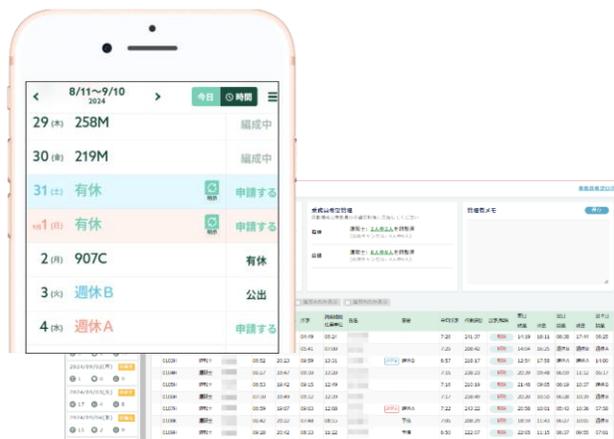
- デジタル技術を活用した運行管理の高度化により「安全性・確実性」を向上させながら、営業所の統廃合や管理者の削減を進めている

※夜間帯の管理を主幹営業所に委ねるなど、現在も複数社において段階的に進めている

遠隔点呼システムを活用した運行管理



勤務シフト編成支援ツール



コールセンターによる外線電話業務の集約



効果

50百万円程度~/年

6 利用促進の取組

- 収支改善のため、共同または個社独自で進めてきた利用促進の取組
- これらに加え、現在、「協調・共創プラットフォーム」において、個社の取組についても情報共有するなど、今後の共同事業化に向け、様々な検討を重ねている。

① 広島シティパス

● 路面電車および 均一運賃エリアの 7 社バスが乗り放題の定期券。交通モードを選ばず、「来たものに乗ればよい」という利便性が受け入れられ、販売開始後、順調に売上枚数が伸びている。

※シティパスワイドは宮島線の一部やバス周辺部も利用可能

定額で広島市内が乗り放題。

公共交通の
共通バス
発売中!

この PC に保存済み
選べる!
共通バス

シーンに合わせて
使い方いろいろ **3種類**

エリア内を運行する **バス7社**と **広電電車**で利用可能!

販売数

13,000人程度(所有者)

デジタルシティパス

● 路面電車および 均一運賃エリアの7社バスが6時間の“時間制限つき”で乗り放題となる1日単位で販売される乗車券

お買い物など日常使いに最適!!

少しの利用でもお得に乗りたい!

定期券では元が取れない!

という方にオススメ!

220円均一エリア（広島シティパスと同一エリア）内が最大6時間乗り放題！2回以上乗車すればお得!

販売数

1,000枚程度/月

価格		利用可能日	利用可能時間帯
大人	400円	平日	10:00~16:00 乗り放題
小児・障がい者	200円	土曜・日曜・祝日	6時間 乗り放題

シティパス・デジタルシティパスやたびパスなどは、この度の運賃改定後においても継続できるように各社間での調整を進めている。

②バス金額式定期券

- 令和7年2月から一部事業者で発売を開始するバスの定期券。
- 従来の「区間定期券」と異なり、購入「金額」内の区間であれば、バス停を問わず自由にバスを利用できる。乗りこした場合も、差額のみでよい。
- 区間に捉われずバスを利用できることから、公共交通機関で買い物・レジャー等に出かけやすくなり、+1トリップが期待できる。

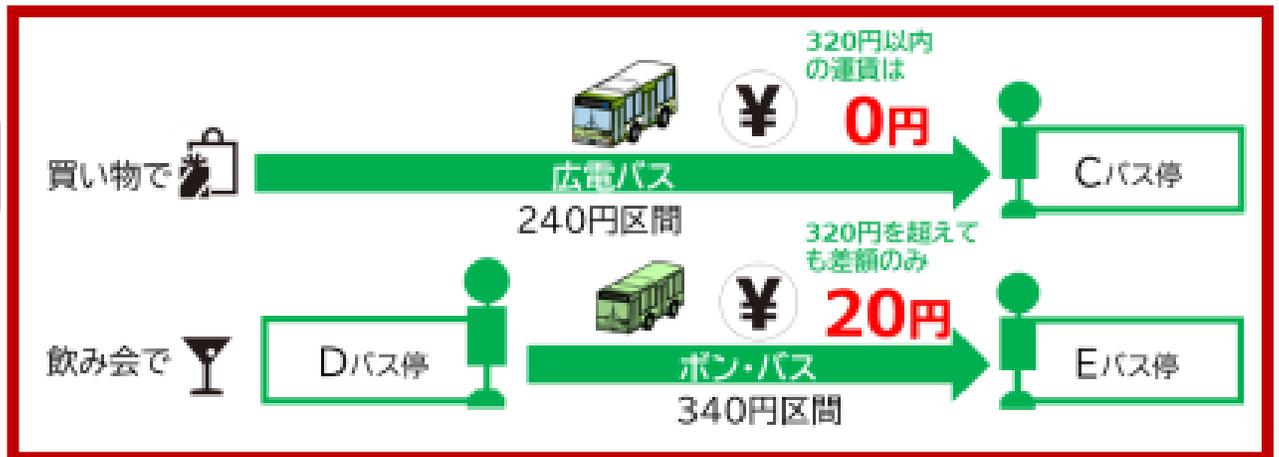
区
間
定
期
券



2/1発売開始の「バス金額式定期券」【320円のバス金額式定期券をご購入】

バス金額式定期券は購入金額内であれば乗車区間を問いません。また購入金額を超える利用も運賃の差額のみでご乗車いただけます。

金
額
式
定
期
券



③広島たびパス

- 広島電鉄電車・バス・船舶(宮島航路)で利用可能な乗車券(紙製)
(ミドルエリアでは、呉・竹原・三次庄原・岩国の高速バスも利用可能。)
- ラインナップを4種類設けることで、広島の観光のほか、レジャーにも利用されている。



広島たびパス 1dayパス

広島たびパス 2dayパス

広島たびパス 3dayパス

広島たびパス 3dayミドルエリア

1,000円

1,500円

2,000円

4,500円

販売数

3,500枚程度/月

④一日乗車券+シェアサイクル

- 広島バスが発売する土日祝500円で乗り放題になるデジタルチケット「街へGOGO!おでかけピンポさんパス」を活用した連携施策
- ドコモ・シェアサイクルとの共同で、シェアサイクル「ぴーすくる」の60分クーポンを配布するキャンペーンを開催した。公共交通だけでは課題となるラストワンマイル面をマイクロモビリティでカバーできるかどうか、協業により検証したもの。

土日祝にスタンプラリーへ参加するなら、RYDE PASSをダウンロード!

赤バスのデジタル乗車券
**街へGoGo!
おでかけピンポさんPASS**
がお得で便利!

土日祝なら 赤バス全路線が 1日乗り放題で…

大人：500円
小人：250円

※広島空港から広島バスはご利用できません。●電車・バス・フェリー・タクシー・自転車はご利用できません。●ご利用には日09:00～19:00まで有効です。●他の乗車券等ではご利用できません。



販売数

200枚程度~/月

⑦広電バス&イオンモール 回数券発売等

- 広島電鉄とイオンモール広島府中共同でバス運賃がお得になる「平日昼トク回数券・休日まるトク回数券」を発売。
- 抽選で買い物券がもらえるなどの連携をすることで、バスの利用促進並びに商業施設と中心部の回遊性向上を図っている。

販売数

40枚程度/月

広電バス × イオンモール広島府中 共同企画



イオンモール広島府中へのお出かけがダブルでお得!!
 広電バス市内2号線利用で

得得 キャンペーン

期間:2022年10月15日[土]スタート!!

MOBIRYを使って平日のお昼または休日に
 広電バス市内2号線に乗ってイオンモール広島府中へ
 お出かけいただくとダブルでお得なチャンスです。



詳しくは
 ココで
 チェック!

お得その1 バス料金割引!
 通常「県庁前」⇄「天神川駅北」往復460円が、MOBIRYの6回券なら往復250円で210円お得!

平日中限定 チケット	土日祝限定 チケット
<p>平日昼トク回数券 (平日のお昼11時~17時) 平日の往復1回分</p> <p>2回券 300円 (お昼)</p> <p>6回券 750円</p>	<p>休日まるトク回数券 (土日祝のお昼11時~17時) 土日祝の往復1回分</p> <p>2回券 300円 (お昼)</p> <p>6回券 750円</p>

※片道乗車券が「天神川駅北」「県庁前」の2駅間の片道乗車券にのみ有効

広電バス「市内2号線」
 県庁前の池田4丁目・倉中4丁目・倉中ニュータウン・倉中北西5丁目5線
 ※イオンモール広島府中には広電バスでのご利用はできません。

県庁前 入丁場 広島駅 天神川駅北 (イオンモール 広島府中) 倉中北西 倉中ニュータウン 倉中4丁目 倉中5丁目

「お昼の買い出し」が
 「お昼の買い出し」が
 「お昼の買い出し」が
 「お昼の買い出し」が

「お昼の買い出し」が
 「お昼の買い出し」が
 「お昼の買い出し」が
 「お昼の買い出し」が

広島でのお買い物やプチ旅を便利にするデジタルチケットMOBIRY

- 1 事前登録
スマートフォンでアカウント登録。
- 2 チケット購入
スマートフォン及びパソコンから簡単に購入。支払いがクレジットカードで決済可能。
- 3 ご利用
バス利用時に乗車券にスマートフォンからデジタルチケットを提示可能。

お得その2 抽選でお買い物券プレゼント!
 期間中に1度でも利用された方にイオンモール広島府中のお買物券500円分を100名様にプレゼント!
 ※抽選日:2022年10月15日(土)~12月31日(日) 9時~23時
 ※抽選方法:抽選機による抽選

イオンモール広島府中のお買物券(500円分)をプレゼント! ※一部、対象外の店舗があります。賞品は2,000円以上の消費で利用可能。500円分のチケットとなります。

- 1 イオンモールアプリのダウンロード。
- 2 抽選に当たったチケットコードを入力。
- 3 抽選に当たったお買物券がメールで届きます。

7 持続可能なバス路線網の実現に向けて

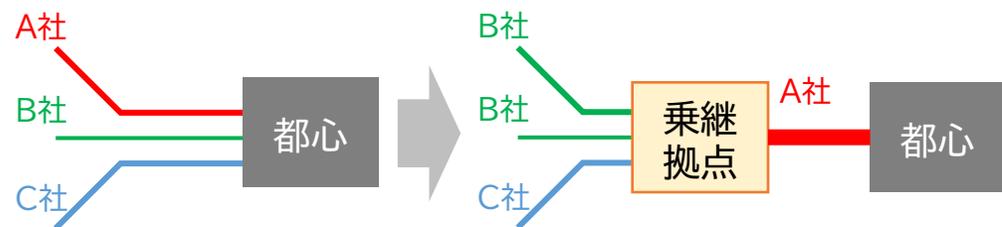
都市部～過疎地域まで様々な環境下にあるバス路線について、将来にわたって持続可能なものに転換していくために、路線再編などの議論を行っている。

①路線再編のパターン

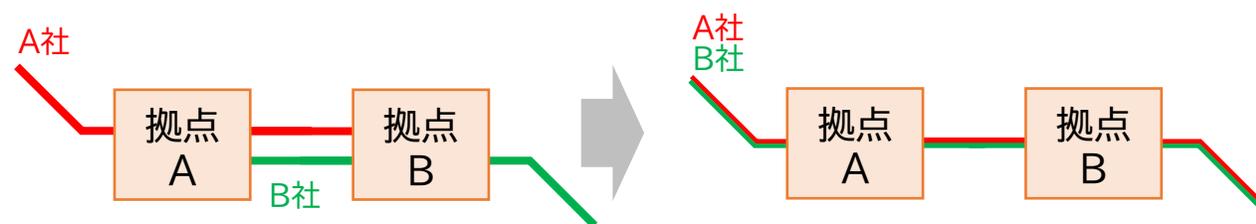
○路線再編のパターンは様々あるが、需要や路線環境を踏まえた選択が必要。

かつては、精算スキームや法令面の制約からハブ&スポーク型が一般的であったが、路線を結合させることで需要促進とコスト削減を図るケースも可能となってきた。

○ハブ&スポーク型



○結合型



- ・定時性を確保しやすい
- ・運行事業者の特異エリアごとに分割できるため、管理面が容易
- ・支線はダウンサイジングによる小回りの効くルートに切り替えが可能

- ・直通ができることで新たな需要創出を得られる
- ・中心部等の車庫用地を抑制できる

●共通事項

・いずれの施策も運賃施策や事業者間精算の合意形成が不可欠

②事業者間の精算(プール精算等について)

○複数の路線を再編した場合は、前後で収益状況が大きく異なることが予想されるため、事業者間の利害調整が難しい。

売上金をプール精算し、経費に応じて再配分することで、再編を促進し全体の収益性の改善を図るもの。

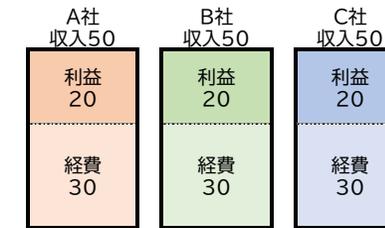
○事業者間の利害調整が必要なケース

- ・ハブ&スポーク型の再編
(一般的に支線の収益状況は悪化するため)
- ・路線結合型の再編
(時間帯により、収益性が高い/低い便があるため)
- ・その他、運行事業者が途中で変わる場合 など

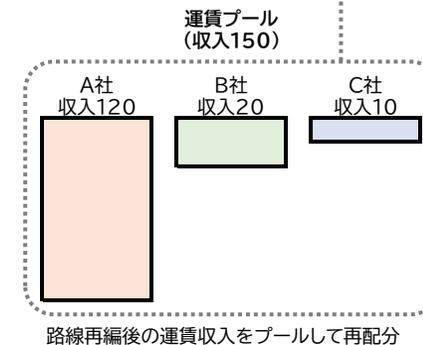
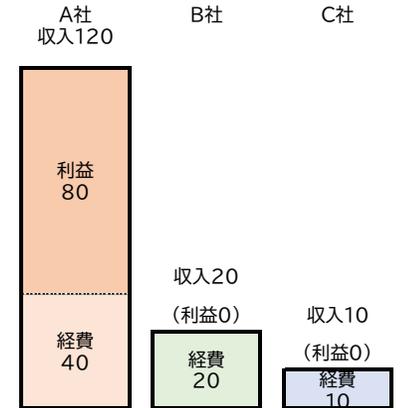
●今後について

- ・広島市中心部や周辺部といった路線網が複雑なエリアで面的な再編を進めるには、幅広いエリアでのプール精算の仕組みを実現する必要がある。
- ・後述の運賃施策の検討と併せて進めることで、利用者負担の変化にも配慮が必要。

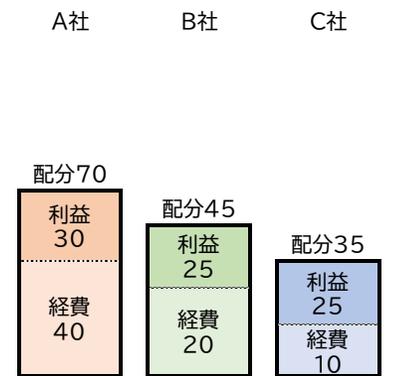
○プール精算イメージ



運賃再配分なし



運賃再配分あり



③乗車券システムに求められること



MOBIRY DAYSは地域の実情に沿った柔軟な運賃施策が実施できること、ICOCAシステムは来訪者等がお持ちの媒体であることなどの長所が異なる。

○当面の取り組み

- ・MOBIRY DAYS車載機が未設置の事業者(広島バス、広島交通、JRバス中国)は、今年度末から順次サービスを開始し、来年度内の完了を目標としている。
- ・広島電鉄グループ各社(広島電鉄、ボン・バス、芸陽バス、備北交通)は、簡易型車載器にてPASPYサービス終了後もICOCAをご利用環境を継続。また、MOBIRY DAYS車載機器でICOCA等の交通系やWAON等の流通系ICカードが利用できるよう、現在検討中。

●今後について

事業者間の置かれている経営環境の違いはあるものの、今後の広島都市圏全体のバス路線のあり方を見据えて、

- ①利用者が使いやすく (10カードなど多様な決済手段が使える)
- ②運賃施策の変化に対応できる
- ③事業者間の精算が可能となる よう、取り組んでいく。

- バス事業者8社と市が一丸となって、新たな連携体制である「バス協調・共創プラットフォーム」において、利用者の促進と収益性の向上を図れる運賃施策の実施、プール精算をはじめとした事業者間精算の仕組みづくり、またそれを支える乗車券システムの構築に向けて取り組むことで、広島の未来に貢献できる持続可能な公共交通を実現してまいります。